

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 6月 28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2772401952		
法人名	有限会社 ハル		
事業所名	グループホーム はる		
サービス種類	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
所在地	枚方市船橋本町二丁目85番地の7		
自己評価作成日	平成 22年 6月 9日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 6月 25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的雰囲気の中での介助による生活支援を行い、利用者個々の残っている能力を支援し、心の声を感じとれる介護をめざし、癒しと安心の環境作りに努めている。
また施設設備においては車椅子対応が可能で、日々安全で健康に過ごして頂けるように努め、職員は利用者に寄り添い穏やかな介護が出来るホームでありたいと努める

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは開設7年目で、介護に当たっている職員も殆どの方が開設以来という永続勤務者で、利用者とは気心の知れた馴染みの関係となっている。
所在地は樟葉駅に近い船橋川の畔にあり、散歩にはもってこいの場所で、夏には涼しい川風を楽しむことが出来る住宅地域です。
利用者の殆どは長期間の利用となっているので、運営者、管理者は、毎日の健康状態の観察と記録を残すことを重点項目とし、少しでも体調に変化があれば医師、看護師と相談し、毎月の介護計画に活用している。更に、このために運営者は、職員のこれらに対応する能力を高める研修を検討している

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「心のバリアフリー」を掲げ、認知症の症状をその人の個性と受け止め理念を共有し実践につないでいる	職員会議は月2回開催し、全職員に漏れなく運営者、管理者による指導が行われている	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	GHの入居者の現状から現在は日常的交流は難しくなり、以前の様な参加は已むをえず出来なくなっている	運営者のご夫人が自治会副会長をされているので、情報交流は出来ている	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営者が地域包括主催のセミナーの講師を務めるなどを行っている	/	/
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は必ず開催、GHの状況報告にて自治会会長又地域包括の方に助言、情報の提供など頂きサービス向上に努めている	日常の運営報告と質疑応答で、地域の役員各位との情報交流を進めている	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の職員を通じて事業の取り組みや情報提供などを頂ながら関係を密に取っている	地域包括センターの活動により、広く情報交流は図られている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束についてのマニュアルを作り職員は理解をしている。その上で安全確保の為のやもえない拘束、施錠に関して家族の理解を求め書類として承諾書にサイン・捺印をもらっている	管理者は定期的に各種の研修会に計画的に職員の受講を奨めている。玄関の施錠は地理的に難しい事情もありご家族の承諾を頂いている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関しての報道などがあった時はミーティングをとり職員のあるはならない事を周知徹底に努めている		
		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は理解をし、又利用者の方で必要と思われるご家族に説明を行っている。P149		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族が納得されるまで説明を行い、疑問点などには理解しやすい説明を行い不安・不信感を持たれないように努めている		
	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関には意見箱を設置し、来所時には意見・要望を尋ね、要望には出来るだけ沿えるよう努めている		
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	スタッフ会議や毎日のミーティングで意見を出してもらい日々の介護に反映させている		
		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	努力や実績、勤務状況を把握し、職場環境・条件の整備に努めている		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ひとりひとりのケアの力量は把握している。研修に関しては出来るだけ参加するように進め、介助時には指導も行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	地域グループホームの定例会に出席している。又情報交換なども連絡をおこなっている		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	利用前には家族・関係者に出来るだけの情報を提供してもらい、環境の変化に不安を軽減出来る様によりそい、なじみの関係が出来る様に努めている		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族からの情報・要望などはしっかり聞き取りを行い記録に記載している		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	入居後の初期に家族の要望、サービス利用の必要優先順位を考え家族と相談の上で対応を行っている		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員の一方向的な支援ではなく、本人の気持ちに沿えるような関係を築くように努めている		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	家族と本人の関係が保てるように職員は必要に応じて連絡を行い、関係を保てるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援	家族の意見を聞き取り了解、協力にて支援が出来るように努めている	一般的に知人、友人の来訪は多くない	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○ 利用者同士の関係の支援	利用者同士のかかわりを大事に職員は見守り時には職員はなじみの関係が出来るよう支援に努めている。		
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			
22		○ 関係を断ち切らない取り組み	必要に応じて家族からの相談があれば対応を行う。又退所後家族からお手紙を頂いたり、来所して下さる事もあるので、その関係を大事にする様務めている		
		サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握	支援計画を元に職員は関わりの中で把握しケアマネと検討している	運営者、管理者は計画作成者と共に、利用者の言葉に出てこない希望や、過去の事象の把握に努力している	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○ これまでの暮らしの把握	本人や家族が来所時に聞き取りを行い把握出来るように努めている		
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○ 暮らしの現状の把握	身体介護にて今までの支援が出来なくなった方には、心のケアを大事に過してもらえる様に努めている		
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○ チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>担当者が介護計画によりケアを行い定期的に検討・見直しそれにもとづいて計画を作成している</p>	<p>ホームでは毎朝、夕の報告連絡は15～30分位と、時間が掛かっても伝えることの漏れのないよう行っている。そして、職員全員が共通の情報を持っている</p>	
27		<p>○ 個別の記録と実戦への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録・スタッフ会議にて情報を共有し、検討し実践・介護計画の見直しに活かしている</p>		
28		<p>○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の状況・変化を家族に伝え、その状況に合わせたサービス提供に努めている</p>		
29		<p>○ 地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>現在残されている能力を把握し、本人の思いを受け止めて、日々の暮らしを心穏やかに過してもらえる様に努めている</p>		
30	11	<p>○ かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診の必要性を家族に伝え、受診時の同行の協力を求め、又事業所としては提携病院と密に連絡や医師の指示を仰ぎ支援に努めている</p>	<p>必要時には医師の診察に、ご家族にも付き添って頂いている</p>	
31		<p>○ 介護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>利用者の状態の異変があった場合は、看護師又は在宅医療に連絡を取り指示を仰ぎ対応出来る様している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入退院時には家族との連絡を密にとりカンファレンスを通し対応している			
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族同席にてカンファレンスを通し、家族の要望を医師に伝えてもらい今後の方針を、家族が十分納得した上で事業所として医師の指示のもと検討して支援を行う	重度化の前の段階で4～5日の間、見守り、ご家族と、医師との対話を行って対処している		
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	マニュアルを作成している。定期的に訓練は行っていない。今後訓練により実践力を身に付ける事は課題である			
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	年2回のシュミレーションによる訓練を行っている	消防署員の立会い監査を実施している。警報装置は設置予定、スプリンクラーは計画検討中		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	個々に応じた、馴染みのある言葉で話しかけ、人格を尊重し、自尊心を傷つけないように努めている	管理者は日頃から職員と利用者との話し合いについて配慮のある指導をしている。尊厳性確保についての研修会には交互に出席して全員に報告している		
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	日々身体介護に追われている中でも表情・行動で感じ取るように努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	希望に沿った支援を行いたいと職員の思いはあるが、現在の利用者状況において厳しく日々身体介護・安全確保が重視になっている現状がある		
		○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している	その人にあった髪型や服装を心がけてい又なじみの美容室にお連れするなどの支援を行っている		
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備などは厳しい状況があり出来ないが、食後のお膳片付けお盆拭きは見守り・半介助にて行っている	メニューは職員が交代で検討し調理を行っている。又、希望の食材にも応じている	
		○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取は記録を取り、月始めに体重測定を行い管理を行っている		
42		○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは毎回行い、自分で出来ない利用者は介助にて行う夕食後は入れ歯は預かり浸け置き管理を行っている		
	43	16	○ 排泄の自立支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている		
○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			便秘のきつい利用者には医師の指導を仰ぎ服薬及び定期的に浣腸を行い便秘を防ぐ。食事などでも考え改善が出来るように努めたい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は週2回行い、医師の指示にて週1回対応の人もいる。個々の希望曜日・時間の対応は難しい状況にある	車椅子での対応の設備も出来ている。入浴希望には出来るだけ応じている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じて休息を取れるよう配慮し、状況に応じた対応を行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	看護師の管理において処方された薬は個別のファイルにとじて職員が確認出来る様になっている。変更や臨時薬に関しては申し送りノートに記帳し、朝のミーティングでも伝える。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者で詩吟の出来る方に披露してもらったり、塗り絵・書き物・将棋をしたりと気分転換を図る。また居室で読書をされ職員に内容を話すなど気分転換を図っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	デイ・ケアも利用し社会との交流を図り、外出希望については家族に連絡を取り家族との外出の機会をつくってもらえるように協力をお願いしている又ホームの車にて職員との外出の機会が増やせる様に努めたい	ホームのすぐ横に河川敷の遊歩道があり、気晴らしに散歩を楽しんで頂いている	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	現状ではお金の管理が出来る方は居られず、外出・買い物時に家族の了解のもとその都度渡して職員確認にて支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	手紙の送付は支援行い届いた手紙は手渡している。又電話があった場合は取次ぎ、電話をかける要望があればホームの電話で連絡をかけ支援を行っている		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	共用空間の壁には毎月のお楽しみ予定を掲示し、また季節事に季節感を感じてもらえる飾りなど工夫している	運営者はリビングの様替えを検討している。利用者の気分転換、職員も含めた利用者との対話を、更に増やせるように、配慮している	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関口に椅子を置いてあり、そこに腰掛け過ぎ方や、居間のテーブルのところで雑談を楽しむなどにて過している		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	居室にはなじみの物を持参してもらおうよう家族にお願いし出来るだけ落ち着いた居室になるように工夫している	居室への家財道具類の持ち込みは自由にして頂いている	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	衣類・タオルたたみや居間のモップ掛けなど見守りにて職員と一緒にしている		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	① ほぼ全ての利用者の
			② 利用者の2/3くらいの
			③ 利用者の1/3くらいの
			④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	① 毎日ある
			② 数日に1回程度ある
			③ たまにある
			④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている		① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		○	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている		① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		○	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
		○	③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています		① ほぼ全ての家族と
		○	② 家族の2/3くらいと
			③ 家族の1/3くらいと
			④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		① ほぼ毎日のように
			② 数日に1回程度
		○	③ たまに
			④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		① 大いに増えている
		○	② 少しずつ増えている
			③ あまり増えていない
			④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている		① ほぼ全ての職員が
		○	② 職員の2/3くらいが
			③ 職員の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う		① ほぼ全ての家族が
		○	② 家族の2/3くらいが
			③ 家族の1/3くらいが
			④ ほとんどいない